1992年 4月17日 第三種郵便物認可(毎月3回7の日発行) 2021年 8月15日 発行 SSKR 増刊通巻9284号

SSKR まうんてんえこお

No.306

社会福祉法人 練馬山彦福祉会

本部

〒177-0034 東京都練馬区富士見台 2 - 1 9 - 9 TEL(03)3998-5023 FAX(03)3998-5035 http://nerimayamabiko-hukushikai.jp/

山彦作業所(就労継続支援B型)

〒177-0034 東京都練馬区富士見台2-19-9 TEL(03)3998-5023 FAX(03)3998-5035 Email: ymbk@mvi.biglobe.ne.jp

山**彦相談支援事業所**(相談支援)

〒177-0034 東京都練馬区富士見台 2 - 1 9 - 9 TEL&FAX(03)3970-2365 Email: `ymbksoudan@xqd.biglobe.ne.jp

やまびこ第二作業所(就労継続支援B型) 〒179-0081 東京都練馬区北町7-20-36 TEL(03)3933-8935 FAX(03)5398-7681 Email:ymbk2@mue.biglobe.ne.jp

やまびこ第二相談支援事業所(相談支援)

〒179-0081 東京都練馬区北町7-20-36 TEL&FAX(03)6906-9803

Email: ymbk2-soudan@xvd.biglobe.ne.jp

ワークショップ石神井(就労継続支援 B型) 〒177-0041 東京都練馬区石神井町 7 - 1 7 - 4 TEL(03)5923-9811 FAX(03)5923-9812 Email: work@msd.biglobe.ne.jp

チャレンジワークやまびこ(就労移行支援) 〒177-0041 東京都練馬区石神井町7-1 7-4 TEL(03)5923-9864 FAX(03)5923-9865 Email: c.w.ymbk®xvg.biglobe.ne.jp

ワークショップ石神井相談支援事業所(相談支援)

〒177-0041 東京都練馬区石神井町7-1 7-4 TEL(03)5923-9818 FAX(03)3997-3650 Email: wkcs@kzh.biglobe.ne.jp

やまびこ三原荘(共同生活援助) 〒178-0063 東京都練馬区東大泉 TEL(03)3978-6352 FAX(03)5935-6320 Email: miharaso@mue.biglobe.ne.jp

就労おめでとうございます!!



チャレンジワークやまびこでは、一般就労を目指し 様々なプログラムに取り組んでいます。 写真は今年の5月に就労が決まったHさんです。 清掃のお仕事で、庭園を綺麗にしていきます。 チャレンジワークやまびこではみんなの日報を準備したり、 机を拭いたり、自分以外のことにも気を配る姿や、 -生懸命さと真面目な仕事振りがとても印象に残る方でした。 お仕事することが「楽しい」と話すHさん。

これからもがんばってくださいね。みんなで応援しています。

----次

表紙 チャレンジワーク

P2 法人本部 事業報告

P3 山彦作業所 事業報告

P4 やまびこ第二 事業報告

P5 ワーク 事業報告

P6 チャレンジワーク 事業報告

P7 やまびこ三原荘 事業報告

P8 相談支援事業所 事業報告

P9~10 決算報告

P11やまびこのペン/署名報告

P12 かぜ(山彦作業所)

/バザー中止のお知らせ

事業報告

1.コロナ対応について

法人を取り巻く状況

で不便な活動を強いられました。 なました。利用者、職員の感染による大みました。利用者、職員の感染による大いました。利用者、職員の感染に取り組 は 20年度は新型コロナウイルスへの対応

度

2.報酬改定について

法人本部2020年

以上増え続けており、実質的にはマイナましたが、全国での利用者は毎年1万人策費であり、9月までの措置) とはなりの年でもありました。全体で0. 56%のの年でもありました。全体で0. 56%のの年でもありました。

法人

やまびこ第二作業所場所問題

での話し合いを行いました。 やまびこ第二作業所の建物は老朽化が やまびこ第二作業所の建物は老朽化が やまびこ第二作業所の建物は老朽化が やまびこ第二作業所の建物は老朽化が やまびこ第二作業所の建物は老朽化が やまびこ第二作業所の建物は老朽化が ちょう

・山彦作業所の場所問題

していきました。
していきました。
となっています。他法人でも買取りの方向でた例があり、当法人でも買取りの方向でとなっています。他法人で施設を買い取っとなっています。他法人で施設を買い取っとなっています。他法人で施設を買い取っとなっています。他法人で施設を買い取っとなっています。他法人で施設を買い取っとなっています。他法人で施設を買い取った際は、区が改善していきました。

·相談支援事業

ス改定といえます。

前年度までは、相談支援事業のあり方

し合い につい る準備が整いつつあります。 その実現可能性について区との協議 統合化が一つの方向性として検討され り協議内容をまとめることが遅くなりま きましたが、 た。そのような中でもようやく事業 の回数が少なくなり当初の予定よ て理 20年度はコロナの影響で話 職員間 での協 を 進め を ത

・職員研修育成について

全職員を対象に研修を行いました。題となっています。虐待防止については研修時間の確保が困難で、次年度への課が明確ではありませんでした。20年度は、が明確ではありませんでした。20年度は、

・中長期計画の策定

5

られ、引き続いての課題となっています。談支援事業の課題の話し合いに時間が取催が困難であったことや、建物問題、相ましたが、コロナ禍で多人数での会議開です。理事会を中心に進め方を考えて来です。理事会を中心に進め方を考えて来

山彦作業所 2 2 0 0

日時点。) 退所者 在籍33名、平均年齢38、 支 援 女性1名

7月以降通所を再開しても建物の換気や消毒・ で対応することが多くなりました。 手洗い時のマンツー マン対応や検温など個別 援(分散通所・時短勤務)の併用を行いました。 月17日~7月30日までは在宅支援と通所支

新型コロナウイルス感染症の影響の為、

4

平均工賃

2019年 11,479円

2020年 6,949円

作業支援

4月~7月までの工賃収入は昨年度に比べ9 割減になってしまいました。 16日から利用者が在宅勤務へと切り替わり下 新型コロナウイルスの影響で2020年4月 請け作業・お弁当作業への取り組みができず 平均工賃の昨年との比較は右記の通りです。

生活支援

健康診断を8月に実施

定期的に行い、利用者が安全に過ごせるよう に配慮しました。 作業所内でできる消毒等衛生管理の周知を

入所者

女性1名

状況

でした。 給食負担額は2019年度同様、 1 300

5歳(21年3月31

ク(中止) 、地域交流事業(中止) 、お花見(中 スティバル(中止) 、ミニお疲れ様会、バスレ 区合同運動会(中止)、ミニ納涼祭、障害者フェ 辞令交付式、きょうされん東京大会、 練馬

非常災害の対応

(1)避難訓練。 しました。 利用者も参加の上、 年2回実施

期的に点検) ②定期的に消防点検を実施。(電気設備も定

発電機等を災害時を想定し準備。 (3)防災対策。 水・簡易飲料・毛布・ラジオ・

械警備(事務所) 4夜間監視業務。 総合警備(株)による夜間

⑤災害時伝言ダイヤルの実施訓練1回

での会議を月に1回行いました。 た。また給食会議は、職員と栄養士、 スや工賃アップについて全職員で検討しまし 合同支援会議、 会議としては法人全体での合同職員会議 山彦支援会議では利用者のケー

しました。 作業所や法人、

家族会

第 1 回 6月13日(土) 弁当試食会を予

広報・情報公開

機関誌「まうんてんえこお」を定期的に発行 社会情勢など広く知ってもらうことを目的に 利用者、 障害者を取り巻く

止のため中止 定しておりましたが、 コロナウイルス感染防

感染防止のため中止 第2回 9月12日(土) コロナウイルス

第3回3月13日 コロナウイルス感染防止

のため中止

より1名女性中断してもらっています。 ボランティアの受け入れ状況ですが、 地域関連との連 4 月

練馬特別支援学校3年生 練馬特別支援学校実習生受け入れ 練馬特別支援学校2年生 1名2日間実習 3名5日づつ実

体験実習 未実施

漝

■員一人一人のスキルアップのため、■職員の研究・研修体制 を企画しました。 虐待防止研修委員会で5回に分けて職員研修 修自体の中止等もあり参加できませんでした。 へ積極的な参加を目標にしていましたが、研

場所問題

きる様に練馬区と協議を進めていきます。 例があり、 す。予想以上に建物の痛みが激しく早急な対 応が必要なため、他法人で施設を買い取った ち退き等の必要が出てくることになっていま 後大規模改修を要する状況になった際は、立 練馬区公共施設等総合管理計画に基づき今 今後も今の場所で作業所活動がで

やまびこ第二作業所

2020年度事業報告

- 支援について

ていく必要性を話し合っています。も、誰でもが支援を受けやすい内容を検討してきています。作業所のプログラムに関して近年では利用者の高齢化に伴った支援も増えが19年では利用者の年齢層が20代から70代と幅広く

きく受けた一年でした。また、作業所においてもコロナの影響を大

コロナ禍での支援の難しさを痛感しています。 してしまう方もいて、難しい面もありました。 たっちが数名いらっしゃいましたが、中には生活 は良い面もたくさんありましたが、中には生活 は良い面もたくさんありましたが、中には生活 はりてしまう方もいて、難しい面もありました。 在宅支援では - 利用者への影響では、コロナの不安から通

利用者状況

・平均年齢

49 歳

在籍者

(2021年3月31日現在)

33名 (男性22名

女性11名)

年齢別内訳 20~30代

6 21 名名

ンチサービス、バザー健康に関する学習会、家族会、バスレク、ラコロナ感染防止のため中止とした事業・・・

2 作業支援

ではいいでは、 は、 は、 は、 は、 での4時間の作業時間を基本としましたが、 ではまでの4時間の作業時間を基本としました。 にはまでの4時間の作業時間を基本としました。 ではまでの4時間の作業時間を基本としました。 ではまでの4時間の作業時間を基本としました。 ではまでの4時間の作業時間を基本としました。 でいることから、工賃額は減少傾向にありま でいることから、コロナウィルス感染症 が、コロナウィルス感染症 が、コロナウィルス感染症 が、

を組み合わせておこないました。清掃」「資源ゴミ回収」「封筒作成作業」等とめ、これまで通り、「下請け作業」「公園作業を計画的に行えるよう作業量確保につ

事業への影響では、利用者も職員も「う作業工程を工夫し、力が発揮できるようや「丁寧に仕上げる姿勢と利用者の力でできるよ」での支援の難しさを痛感しています。「一作業支援の方向性としては、責任をもって

また、

える関係づくりができたら、と考えています。を通して利用者同士の接点を増やし理解し合も大切にしています。「声をかけあう」ことまた、作業を通して、「声をかけあう」こと者の力を再確認出来ることが増えてきました。り方を模索しています。少しずつですが利用り方を模索しています。少しずつですが利用

賃支給

ました。
るのを補うため、「激減緩和手当」を支給し間を短縮した影響により、工賃額が少なくなまた、コロナウィルス感染予防のため作業時

2020年度

・平均工賃月額 12,888円

・月の最高額(平均) 26 030円

3 建物について

と思います。 状況を共有できるように取り組んで行きたい議をしながら進めています。利用者と一緒に「はじめのいっぽ春日町」とともに4者で協「はじめのいっぽ春日町」とともに4者で協「ま続き、練馬区と「こぶし事業所」

ップ石神井 シ 2 2 0 0

年度事業報告

- 期入院1名) (就労3名・他事業所1名・他部門1名・長 ・6名入所、6名退所
- 待機者3名
- 入所問い合わせ45件
- 見学者22名

2020年度を振り返り

標にしました。 身の疾病を悪化させず再入院を防ぐことを目 新型コロナウィルスに感染しない。 また、自

努めました。 の重要性を繰り返し学習し、作業所としては 礎知識や手洗いやマスク、 三密を避けること 室内消毒や換気など感染防止の環境づくりに 国や都・練馬区の資料をもとに感染症の基

年でした。 利用者と職員は、 緊張と不安が消えない1

2020年度の目標と取り組み

安定した作業を確保して工賃を増やす

賃が減額しました。 ダイレクトメール等の受注作業が激減して

> 平均工賃額(5,132円) 2020年度の工賃内訳

在籍者(32名)(2021年3月31日現在)

入退所状況

月の最高額 (平均11 627円)

新規作業開拓

- をしています。 ほり、追肥等、夏のブルーベリー狩りの準備 日、メンバー数名と職員が草取りや苗木の穴 園での作業を9月から行いました。 毎週水曜 練馬区農福連携事業としてブルーベリー農
- した。 防ぐためのシステムを開発するために必要な、 糸のリースなどの自主製品づくりを開始しま 画像を抽出するパソコン作業を行いました。 ・ハーバリウム、松ぼっくりの植物雑貨、毛 ・駅のホームから視覚障害者等の転落事故を
- 利用者の通所目的と生活ニーズに応える

2

就職したい利用者への支援

ました。 障害者就労センター と連携して3名が就労し 利用者が増えてきています。 20年度は練馬区 いており、その影響を受けて就労を希望する ・ここ数年就労に結びついている利用者が続

者への支援 加齢で腰痛やからだの痛みがでている利用

操」「みんなの体操」「ラジオ体操」と、 ・毎朝、日替わりで「練馬区健康いきいき体 ・鎌田式かかと落とし」 を行いました。

し適度な運動をするようにと言われています。 者が増えています。 医師からは、 体重を落と 連携をとってすすめたいと考えています。 ・食事や栄養面での相談は保健師や栄養士と 運動面では、コロナ禍で以前のように外出 腰の痛み等で整形外科に通院している利用

談したいと考えています。 アするプログラムづくりを理学療法士等に相 認知機能の低下を防ぐ上からも、 からだをケ

もできずからだを動かす機会が減っています。

暮らしの場を考える

います。 現在6名がグループホームから作業 ざるを得なくなってきている利用者が増えて 所に通所しています。 親と本人が年齢を重ね、先の暮らしを考え

新たに3名がグループホームを見学し検討し

職場にする。 3 利用者とともに職員が成長を実感できる

で朝と夕方に利用者支援・作業等について話 し合うようにしました 昨年度から引き続き、常勤と非常勤全員

坠

に分かれて学習しました。

ついて考える」をテーマに全職員がグループ

法人の虐待防止研修では「グレーゾーンに

ンジワ やまびこ 0年度事業報告 2 0 2

事が出来ました。 タートし、年間で1名の就労者を送り出す 年は4年目の年となり、定員の4名からス チャレンジワークやまびこが開所して今 はじめに

出来るプログラムを提供することが課題と えられるよう努めました。 集団プログラム 敗から学ぶ」を基本に事務系・清掃系や軽 なりました。 ため、職場を想定したチームワークを体感 つ、再開しています。作業スキルを重視し からは月に一度、感染防止対策を徹底しつ め、休止せざるを得ませんでしたが、 たプログラムについては感染拡大防止のた 作業など実践に即した形で個々の要望に応 た個別プログラムが中心となってしまった においては、コミュニケーションを重視し プログラム内容に大きな変化はなく「 12. 月

習を通じて清掃業に就職が決まりました。 することで関係機関と連携しながら定着支 場と相談の結果、ジョブコーチ支援を導入 1年ではありましたが、1名の方が職場実 て中止となるなど、就職活動が行いにくい 大防止の観点から大規模な面接会はほぼ全 スにより雇用状況の悪化に加えて、感染拡 開所以来の課題である定着支援では、 就労支援については、新型コロナウィル 職

意識にあった1年でしたが、 たこともあり、 新型コロナウィルス感染拡大防止が常に 1年を通じて開所し続け、 対策を徹底し

援を行うことが出来ました。

援を行いつつ、新しい利用者の方を迎え入 後も在籍者の方と就労した卒業者の方の支 れる取組をして運営を行って参ります。

1名の方が就職することができました。

今

2020年度就労実績

清掃

就労移行支援の内容

ので間違いから学ぶ大切さを大事に1年間 力の向上に努めました。 ここは訓練の場な 支援してきました。 コミュニケーションを行う場を設けその能 ミーティング・振り返り・1人一言など

- (1) 就職支援
- 欲を向上させるよう努めました。 ハローワーク等に行く機会を設けて就労意 ・各種プログラムに加えスーツを着用して
- サポー トを行いました。 集団面接会や個別面接に同行し利用者の
- (2) 就労実習
- 職場実習に1名参加をしました。
- (3)定着支援
- 含め状況把握に努めました。 問題や困りごとがあったときは関係者と 就労後も連絡を取り合い会社での面談等

連絡を取り合い情報共有に努めました。

運営 (抜粋)

(1) 非常災害時の対応

同で総合防災訓練を行いました。 (2)苦情解決 ・苦情解決第三者委員の名前と連絡先 3月31日にワークショップ石神井と合

利用者の目につきやすい掲示板に掲示しま

1名 (12月入社)

(3)虐待防止

を行いました。 ・ 「危機管理マニュアル」

り組みました。

(4) 危機管理

から意識を高めて職員全体で虐待防止に取

虐待防止研修で学んだことを基本に日頃

に則り施設管理

- (5)職員会議
- たほか、月に1度、 施をはかるため、事業所内で職員会議を行っ われる合同職員会議に参加しました。 日々の活動の点検や改善、 練馬山彦福祉会内で行 事業計画の
- (6) 広報活動
- 業に関する情報を公開しました。 誌の発行を行い、法人のホームページに事 法人の他事業所と協力して定期的に機関
- (7) 地域関係機関と連携
- 練馬区内の様々な会議に参加しました。 ・地域との連携を深めることを目的に、
- (8)研修

報酬に関する研修を中心に参加しました。 支援上必要なスキル向上と運営に必要な

やまびこ三原荘 年度事業報告 2 2 0 0

新規入居者2人。

人居者の状況

通過型に2人。

との同居が1人。 入居前の住居は、 精神科病院入院が1人、 家族

退居者1人。入院中に死亡 精神科病院への入院は、のべ6人。

日中活動は、 平均年齢は54.2才。(19年度は54.3才)

OT:2人、生活支援センター:2人、 就労継続支援B型:6人、デイケア:5人、 |般就労:1人、所属なし:2人。

新型コロナウイルス対策

職員・入居者の検温、手洗い等の徹底、食事サー いの者は出ませんでした。 た。年度内で、コロナウィルス感染または感染疑 ビスとミー ティングの小グループ化等を行いまし 新型コロナウイルス対策として、2月下旬より

事業の実施状況

・生活の安定・向上

問看護との連携を行いました。 必要に応じて買い 金銭管理・服薬指導、 健康管理等生活支援 服薬確認、外来受診や訪

物への同行、居室の清掃等の支援を行いました。 健康診断とそれに合わせた対応

それ以外は日中活動先

等で受けました。 3月に入居者14人実施。

家庭との連絡・相談

絡・相談を行いました。 入居者の生活上での課題対応などで家族との連

顧問医との相談

月に1回、世話人から入居者の状況を伝えて助

言を受けました。

夕食週3回 (日・火・木)、朝食週3回 食事サービス

は中止し夕食サービスは使い捨ての容器を使いお 緊急事態宣言中、感染防止のため、朝食サービス 木・金) 行いました。利用人数は8~13名 弁当にして配り自室で食事をとってもらいました。

昼食づくり

とってもらいました。 緊急事態宣言中は、弁当をつくり、自室で食事を 毎週土曜日に行いました。 利用人数は7~1名。

余暇支援

品作り、音楽活動などを行いました。 DVDレンタルでの映画鑑賞、お花見散歩、 作

退居への準備、退去者への支援

や関係者とケースカンファレンスを行いました。 グループホーム等や軽費老人ホーム等の情報提供 退居期限が近くなった入居者に対し、単身生活

2 ・入居者どうしの良好な関係づくり

(1) 入居者ミーティング

スタンスを守って実施しました。 火曜日のミーティングは小グループ化して行い 月末ミーティングは木曜日に集会所を借りてディ 定でしたが、新型コロナウイルスの影響で、第2 曜日のどちらかに参加するミー ティングを行う予 計画に従い、毎月第2週火曜日と、最終火・木

(2) ユニットミーティング 必要に応じて年に数回行いました。

(3)食事会

ぞれお弁当を注文して食事会を行いました。 12月は規模を縮小し、3グループに分けて、 新型コロナの影響のため7月の食事会は中止。

3 住環境の維持・改善

(1)建物及び敷地内の維持管理

父

難場所へのルート確認を行いました。 ました。点検に合わせて、火災時の避難訓練と避 12月に自動火災報知器と通報装置の点検を行い

非常災害時の対応

時用備蓄の見直しと追加購入を行いました。 合わせて、火災時の避難訓練を行いました。 12月に自動火災報知器と通報装置の点検を行い、

苦情解決体制

ありませんでした。 の面談を行い苦情解決として取り扱うべきものは 1月に苦情解決第三者委員による入居者(5人)

内容・テーマ(実施機関

管理責任者更新研修 (東京都保健福祉局) サービス管理責任者更新研修及び児童発達支援

障害者グループホーム従事者基礎研修(同)

虐待防止研修「グレーゾーン」について

(練馬山彦福祉会)

ありませんでした。 2019年度に実施したため、 今年度の調査は

7

相談支援事業 2020年度事業報告

作成依頼くの対応は甚だ困難です。確認(内容理解)をすることに追われ、新たな原因の一つですが、前年度に作成した計画案の兼務であるため職員に余裕がないことが大きな現在新規の作成依頼は受けつけていません。

た。

「人職場、職種であることの難しさを感じましま、業務全体の流れをつかむまで時間がかかり、の中では前任者からの引き継ぎが不十分なまの中では前任者からの引き継ぎが不十分なま

を整理することが不完全なままで業務が行わいて1で1年、まだ充分に業務の全体的な流れをついで1年、まだ充分に業務の全体的な流れをつけたが、その記録が不十分で結果としてモニターとが、その都度必要なモニタリングは行ってきまです。その都度必要なモニタリングは行ってきま様々な指摘事項がありました。一番大きな指様の21年1月に練馬区の検査指導があり、

れていたことは大きな反省点となりました。

Щ

彦相談支援事業所

やまびこ第二

相談支援事業所

絡を取り合うことも多かったです。 との分のでは、 このののでは、 こののでは、 こののでは、 こののでは、 こののでは、 こののでは、 こののでは、 こののでは、 このののでは、 こののでは、 このでは、 このでは、

えています。 や健康にダメージがある方、少しずつ積み上げや健康にダメージがある方、少しずつ積み上げた。1人職場の問題や事業そのものの問題を共会社が倒産して仕事がなくなった方、また家族会社が倒産して仕事がなくなった方、また家族法人内で今後の相談支援事業所のあり方を検法人内で今後の相談支援事業所のあり方を検法人内で今後の相談支援事業所のあり方を検法人内で今後の相談支援事業所のあり方を検法人内で今後の相談支援事業所のあり方を検法人内で今後の相談支援事業所のあり方を検討しているのですが、継続に向けて具体的な案を出し合ったり、話し合いを持つことが出来ました。1人職場の問題や事業そのものの問題を共存することが出来たことは今後につながると考有することが出来たことは今後につながると考有することが出来たことは今後につながると考えています。

に少しは応えることが出来ているようで嬉しいの充実」を目的の一つにあげていた、当初の思いすことが増えてきていることは、「法人内の支援との関係を、やまびこ第二作業所の支援に活か最後に、相談支援事業で得た情報や関係機関

7 クショプ石神井

ことでもありました。

認しながら情報提供を行ってきました。ことを知らない家族もあり、意向や方向性を確合もあります。利用できる福祉サービスがある考え方は様々で家族と利用者の意向が違う場りまで一緒に暮らすことを選択する家族、ギリギ 自立の道筋を早い段階で決断する家族、自立自立の道筋を早い段階で決断する家族、自立

2 関係者との連携を強化しました。

した。や家族が望む生活に近づけることを目指しまゆ家族が望む生活に近づけることを目指しま返り、計画の見直しを繰り返しながら、利用者支援を誰が行うか決めて支援にあたり、振り問題解決に向けて情報を共有し、どのような

気をつけたいと思います。 Sを発信できない方々を見逃す事のないように緊急度が高い人に目が向いてしまうため、SO

は影響が続くと思われます。

ス安や困りごとの電話相談を受けたり、利用不安や困りごとの電話相談を受けたり、利用不安や困りごとの電話相談を受けたり、利用の手が続きが続くと思われます。

1992年4月17日第三種郵便物認可(毎月3回7の日発行)2021年8月15日発行SSKR増刊通巻9284号

練馬山彦福祉会 2020年度 決算の概況

			合計	本部	山彦作業所	第二	ワーク	三原荘
	1	就労支援事業収入	13,218,000	0	6,245,879	4,816,652	2,155,469	0
工	2	下請作業収入	6,550,661		1,204,134	3,351,258	1,995,269	
賃	3	外勤作業収入	1,884,029		643,965	1,154,864	85,200	
収	4	弁当作業・その他収入	4,783,310		4,397,780	310,530	75,000	
支	5	就労支援事業支出	13,156,648	75,000	6,491,210	4,257,476	2,332,962	0
	6	就労支援収支差額 5 = 1 - 4	61,352	-75,000	-245,331	559,176	-177,493	0
						•		
	7	事業活動による収入	214,357,552	1,134,258	61,721,387	46,391,893	55,128,723	49,981,291
	8	訓練等給付費収入(B型)	113,833,397		51,535,586	32,336,050	29,961,761	
	9	(就労移行)	12,799,366				12,799,366	
	10	(共同生活援助)	23,151,144					23,151,144
	11	支援給付費収入 (計画相談)	7,254,815		1,424,538	4,070,096	1,760,181	
	12	利用者負担金収入	6,001,699		1,592,100			4,409,599
事	13	補助金事業収入	50,087,196		7,157,850	9,985,747	10,559,257	22,384,342
業	14	(区サービス推進費・補助金)	46,963,647		6,555,000	8,780,000	9,603,000	22,025,647
活	15	(都コロナ包括支援事業)	1,192,043		367,055	482,398	205,660	136,930
	16	(都生産活動活性化支援事業)	991,279			496,459	494,820	
動	17	(区コロナ感染予防経費補助)	446,227		97,795	98,890	99,777	149,765
収	18	(区介護従事者特別給付金)	494,000		138,000	128,000	156,000	72,000
支	19	寄付金その他の収入	1,229,935	1,134,258	11,313	0	48,158	36,206
	20	事業活動による支出	193,765,824	440,586	57,577,937	40,635,843	52,507,937	42,603,521
	21	人件費支出	152,653,445	295,450	47,412,005	35,745,348	44,978,982	24,221,660
	22	事業費支出	23,123,900	0	5,658,844	1,629,546	1,965,095	13,870,415
	23	事務費支出	17,898,961	145,136	4,507,088	3,260,949	5,474,342	4,511,446
	24	その他支出(支払利息)	89,518				89,518	
	25	事業活動による収支差額 18 = 6 - 14	20,591,728	693,672	4,143,450	5,756,050	2,620,786	7,377,770
	25	施設整備等による収入	1,321,337	0	679,945	100,602	427,720	113,070
7	26	建築資金借入金 利息補助	81,380				81,380	
そ	27	施設整備等補助金収入	1,239,957		679,945	100,602	346,340	113,070
の	29	施設整備等による支出	2,522,730	0	973,500	104,000	1,332,150	113,080
他	30	固定資産取得・除却支出	1,538,730		973,500	104,000	348,150	113,080
の	31	建築資金借入金 元金返済	984,000				984,000	
_	32	その他の活動による収入	8,300,000	8,300,000	0	0	0	0
収	33	拠点区分間繰入金収入	8,300,000	8,300,000				
支	35	その他の活動による支出	8,300,000	0	2,000,000	1,000,000	0	5,300,000
	36	拠点区分間繰入金支出	8,300,000		2,000,000	1,000,000		5,300,000
	37	その他の収支差額 30 = 19 + 25 - 22 - 28	-1,201,393	8,300,000	-2,293,555	-1,003,398	-904,430	-5,300,010
	20	以细次众而十美婦人=□ 24 7 40 00	10.451.007	0.010.070	1.004.504	E 211 000	1.520.000	2 077 700
	38	当期資金収支差額合計 31 = 5 + 18 + 30	19,451,687	8,918,672	1,604,564	5,311,828	1,538,863	2,077,760
	39	前期末支払資金残高	103,453,909	22,253,956	23,292,207	14,666,732	14,163,431	29,077,583
	40	当期末支払資金残高 33 = 31 + 32	122,905,596	31,172,628	24,896,771	19,978,560	15,702,294	31,155,343

1992年 4月17日 第三種郵便物認可(毎月3回7の日発行) 2021年 8月15日 発行 SSKR 増刊通巻9284号

練馬山彦福祉会 2020年度 貸借対照表

		資産	の部						負債	の部			
科目	中計	本部	山彦作業所	やまびこ第二作業所	ワークショップ 石神井	やまびこ三原荘	科目	福	本部	山彦作業所	やまびこ第二作業所	ワークショップ 石神井	やまびこ三原荘
流動資產	141,616,426	32,229,392	31,744,089	23,019,334	17,183,219	37,440,392	流動負債	19,676,024	1,056,764	6,828,512	3,040,774	2,464,925	6,285,049
現金預金	91,417,749	21,654,192	18,829,042	13,626,996	9,276,095	28,031,424	事業未払金	16,256,760	1,052,914	6,172,089	2,186,889	870,928	5,973,940
事業未収金	46,965,284	10,575,200	11,057,661	9,333,179	7,854,376	8,144,868	1年以内返済予定設備資金	984,000	0			984,000	0
前払金	1,470,312		101,778	55,704	48,730	1,264,100	預り金	109,925	3,850	2,160	100,663	3,252	0
拠点区分間貸付金	0	0	0			0	職員預り金	2,237,939	0	654,263	753,222	606,745	223,709
仮払金	1,763,081	0	1,755,608	3,455	4,018	0	前受金	87,400	0	0	0	0	87,400
立替金	0	0	0	0	0	0	仮受金	0	0	0		0	
固定資産	155,590,758	10,000,000	7,538,559	6,712,894	130,456,149	883,156	固定負債	14,760,000	0	0	0	14,760,000	0
基本財産	136,002,384	10,000,000	0	0	126,002,384	0	設備資金借入金	14,760,000	0	0	0	14,760,000	0
建物	95,170,958	0	0	0	95,170,958	0							
建物附属設備	30,831,426	0	0	0	30,831,426	0	負債の部合計	34,436,024	1,056,764	6,828,512	3,040,774	17,224,925	6,285,049
定期預金	10,000,000	10,000,000	0	0	0	0			純 資 菌	産の部			
その他の固定資産	19,588,374	0	7,538,559	6,712,894	4,453,765	883,156	基本金	14,500,000	0	13,000,000	0	0	1,500,000
建物附属設備	55,499	0	0	0	0	55,499	第3号基本金	14,500,000	0	13,000,000	0	0	1,500,000
構築物	2,861,649	0	0	12,537	2,849,112	0	国庫補助金等特別積立金	106,038,514	0	769,314	98,507	105,067,045	103,648
機械及び装置	71,744	0	2	45,003	26,739	0	その他の積立金	13,161,465	0	5,311,465	6,350,000	1,500,000	0
車輌運搬具	430,612	0	176,452	150,501	2	103,657	工賃変動積立金	2,600,000	0	2,100,000	200,000	0	0
器具及び備品	2,108,285	0	1,885,520	154,853	67,912	0	設備等整備積立金	10,561,465	0	3,211,465	5,850,000	1,500,000	0
権利	225,000	0	150,000		0	75,000							
ソフトウェア	15,120	0	15,120		0	0							
工賃変動積立資産	2,600,000	0	2,100,000	200,000	0	0	次期繰越活動収支差額	129,052,375	41,172,628	13,354,551	20,242,947	23,847,398	30,434,851
設備等整備積立資産	10,561,465	0	3,211,465	5,850,000	1,500,000	0	次期繰越活動収支差額	129,052,375	41,172,628	13,354,551	20,242,947	23,847,398	30,434,851
出資金	10,000	0	0	0	10,000	0	(うち当期活動収支差額)	19,317,019	8,918,672	1,566,176	5,315,155	1,460,999	2,056,017
その他の固定資産	649,000	0	0	0	0	649,000	649,000 純資産の部合計	262,752,354	41,172,628	32,435,330	26,691,454	130,414,443	32,038,499
資産の部合計	297,207,184	42,229,392	39,282,648	29,732,228	147,639,368	38,323,548	負債及び純資産の部合計	297,188,378	42,229,392	39,263,842	29,732,228	147,639,368	38,323,548

ま びこの ペ ン

5 新職員あいさつ 山彦作業所 田澤 由美

私にできるのだろうかと不安はあ 申します。山彦作業所には非常勤 う気持ちが大きく お世話になる りましたがメンバーや職員の皆さ なろうと思っていましたが、常勤 勤で頑張れるところまでお世話に で8年間勤務していました。 んと一緒に頑張って働きたいとい にと声をかけていただきました。 ことになりました。 4月に入職しました田澤由美と 非常

ます。 関心したことです。 お弁当の盛り 両手に持ちどんどん配達してくれ ンバー は文句も言わず重い弁当を れていますが、皆さん自信を持っ たことは、皆さんよく働くなあと 達は時間に追われ大変ですが、メ て取り組んでいます。 お弁当の配 付けは長時間の立ち仕事で大変疲 山彦作業所に入って初めに感じ お弁当の回収作業も階段を 幸せです

りに積極的に参加し、重い部材を 思います。 時の達成感は皆さん感じていると 運んでくれます。 無事納品できた 品日までに仕上がるよう協力して 取りに行きます。 降りながら、いろいろな配達先へ 完成させています。 納品や受け取 大変ですが皆さん一生懸命取り組 んでいます。所内での作業も、 動きまわるので 納

仕事に対する喜びを感じることが や職員と一緒に働くようになって、 素敵な方達です。 働き者のメンバー 教えてくれたり手伝ってくれたり しく、 いろいろわからないことも できる様になりました。 メンバーも職員も皆優しく 山彦作業所に働くことができて 楽

動にご協力ありがとう 国会請願署名・募金活 こざいました。 うされん第4次

せんでした。 年は中止せざるを得ま ていた街頭署名を、今 山彦三所でも、毎年行っ いが難しい状況にあり、 場での署名協力のお願 ナ渦では、人が集まる ことが制約されるコロ 人と会うこと、

名・募金活動にこ

ました

されん第44次国会請願署 ありがとうござい こうした状況は、 と考えられます。 数にも影響が出てい 署名 る

は7月5日現在で30 力をいただいており、 00万円を超えるご協 なっています。 同時期より多い金額 これは昨年、 しかし、一方で募金 一昨年の

署名:1890

間とともに行ってい 国会請願行動は、 に引き続き中止となり また、毎年多くの 昨年 た 仲

> 8人の方に紹介議員になって 元の議員事務所へ依頼し、 をすることはできませんでした 各議員を訪 きょうされん各支部から地 ね 紹 介議 員 のお願 2 L١

き続き運動をつづけていきたい 立場に立った要望をかかげ、 が、これからも障害の ともに不採択という結果でした ただきました。 と思っています。 今後とも、ご支援・ご協力 審査結果は、 衆議院 ある人の 参議 引 を

す。 どうぞよろしくお願 ま

集まった署名・

練馬山彦福祉会全体

募金:88,029円

著名:80万446

きょうされん全体

金 :3163万0877円

に

ロナ禍の利用者の 七夕の願

Ш

コロナが早く終息しますよ

うに 作業所の 時間が戻りますよ Y Rさん

巨人が日本 すように 東京オリ ンピッ なれ クができま ますよう

仕事を沢山作り 金も貯 金し ます

コロナがなくなりますよう

S・Iさん

運

動

会ができますように

I・Tさん

申し上げます。

ただけますよう

よろしくお願い

ロナウイルスが

さまりますように

・Jさん

す。 た。 対 することに対する熱い に を Ū 感じます。 も時短勤務 利用者に書いてもらい ての 去年から時短勤務となり、 П 利用者の思いはコロナに ナ 願 禍2年目の七夕短冊 ίl が多かったよう を継続し ま 作業に ていま 思 ま . 関 を

身体がなおりますように

ヒー

믺 디

になりますように

Α

・Tさん

すように なくなりま す

もっとお弁当が沢山売れ

ま

ように コロナが早く F・Cさん

コロナにならない ように

金沢にお友達に ますように 会いにい Mさん け

この調子で楽しく暮らせ すように

(目標)早起きできますよう 匿名さん

うに コロナが早く終わりますよ M さん

Т K さん

感じ 先 お を加速する中で感染者が増え、 願 て来年の ります。 の見えない毎日を過ごして まし 利用者 11 が 叶 た。 七夕の短冊 いますように。 早くコロナが終息 同願っています。 今ワクチン接種 は明 職 る



理事長交代のお知らせ

明星晃より坂元信幸に交代いたしま 今後とも変わらぬご支援ご協力を 6月25日付で、当法人の理事長が

矛盾等問題はあれど、選手の一生懸命 ク・パラリンピックが開催されました。 両論ありましたが、東京でオリンピッ コロナ禍で迎える2度目の夏。編集後記 関係者の辞任やコロナ対策の甘さや やはり素晴らしいものですね 渡辺

ザ ĺ 中止 の お 知

5

ぜ

そのため、やまびこ3所では、 異株が広まるなどし、 ワクチン接種が始まるなど明る はまだ時間が必要です。 話題がある一方、 新型コロナウイルスに関しては、 感染力の強い変 収束までに 感 L١

訳ございません。 ボランティアの皆様、 域の皆様、ご協力いただいている たしました。 楽しみにしていただいている 本当に申し 地

各所のバザーを中止することとい

染拡大を防止するため、

今年度も

らずご参加いただけますよう、 ザーを開催できることを楽しみに ろしくお願いいたします。 ため、 ではありますが、 しております。 来年以降、 やまびこにとって大切なバザー 苦渋の決断をした次第です。 また皆様とともにバ その際には、 大切な命を守る 変わ ょ

編集人

社会福祉法人練馬山彦福祉会

東京都練馬区富士見台2 - 19 - 9 TEL(03)3998 - 5023

発行人

章害者定期刊行物協会

東京都世田谷区祖師谷3 - 1 - 17 ヴェルドゥーラ102号室

> 頒価 20円